

CROSS POINT

vol.3 2025 autumn

高知大がもっと好きになる。

高知がもっと、



P2 | 広報スタッフpresents
高知の推しスポット。

P3 | INTERVIEW#2 吉岡一洋先生

P6 | 学生広報スタッフCROSS TALK
高橋萌瑛さん

P8 | What is your recommended class?

P10 | 濃いめでお願ひします～オフレコでしかできない話～
volume.3 教育学部 神崎創太

P12 | CLOSS-UP 03 編集スタッフの推し事エッセイ

室戸市吉良川町
道の駅 キラメッセ室戸
食遊鯨の郷

太平洋が一望できる道の駅です



安芸郡北川村
北川村「モネの庭」
マルモッタン

美しい庭園と
四季折々の草花が
楽しめる
観光スポットです

広報スタッフ presents

高知の
推しスポット。

特集

食
ver.

高知市梅ノ辻
NANA cafe and rest

ランチも充実してます



高知市春野町
LANIAKEA
BEACH
STORE & COFFEE

パンケーキはもちろん、
流行りのアサイーボウルも食べられます

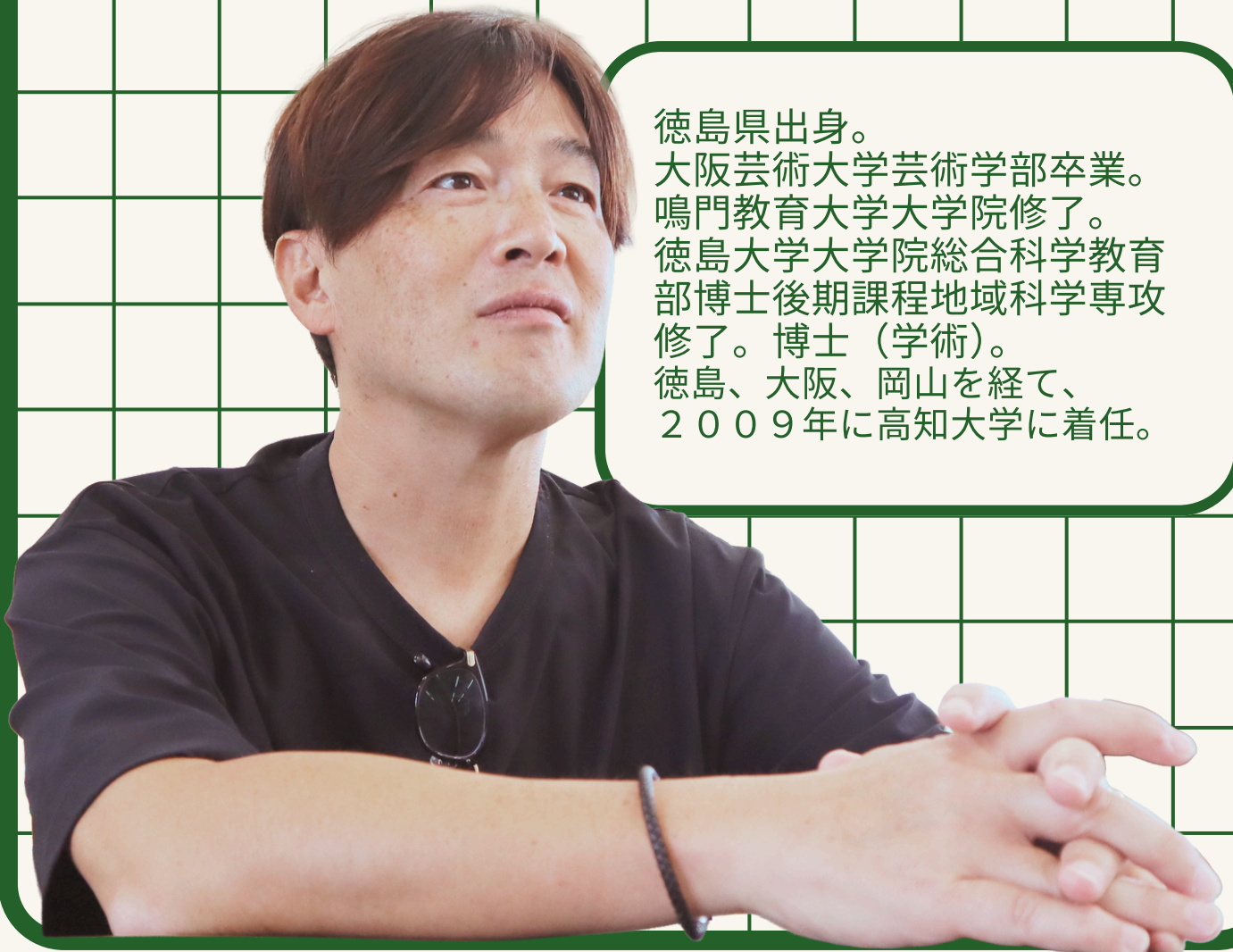
INTERVIEW #2

高知で芸術を学び伝える姿勢。

吉岡一洋 YOSHIOKA KAZUHIRO

地域協働学部 教授

徳島県出身。
大阪芸術大学芸術学部卒業。
鳴門教育大学大学院修了。
徳島大学大学院総合科学教育部博士後期課程地域科学専攻修了。博士（学術）。
徳島、大阪、岡山を経て、
2009年に高知大学に着任。





得意分野を活かし 美術の道へ

「先生が美術やデザインを専攻されたきっかけって何かありますか。」

姉がいて、姉は薬学部なんですけど、薬剤師の国家試験の勉強をしているのを見てこんなに勉強するの嫌だなんてちょっと思っちゃって。(笑) それで自分が他の子より突き抜けているものは何かなと思って絵なら勝てるかもと考えて、本格的に美術の世界に進んでいこうと思いました。そこで初めて美術部とかにも入ってみました。



雰囲気を楽しみ フリマに参加

「今度は先生の学生時代の話をぜひ聞かせていただきたいです。」

昔は大阪南港のフリーマーケットに自分で作った「シャツ」を持って販売していたんです。今でいうマルシェみたいな感じで。一日中、その環境の中に、他のものづくりしているみんなと一緒にいることだけで、満足してて、参加してるぞ、やってるぞ、みたいな。(笑) 全然売れなくても、雰囲気を楽しむだけで満足でした。(笑)

高知でアート人材を 育成したい

「今後の展望はありますか。」

芸術や文化、高知の中でのアートというカルチャーを基に、きっちと大学が責任を持つ形で、人材育成をしていくっていうのはやりたくて。できるだけ中四国、もちろん高知県も美術やアートをやりたい高校生の方、あるいは生涯学習的に地域の方が気軽に学びに来れる場みたいなのが、高知大学の中でもうちちょっと大きくやれたらいいかなと思う。個人としては、私は版画も専門にやってるから版画とかグラフィックデザインとかを学外のお仕事としてやれたら良いと思っています。

吉岡一洋 ×

学生広報スタッフ

地域協働学部 教授
スポーツ・芸術文化共創専攻

人文社会科学部2年

広報 最後に学生に向けて大学生活のアドバイスをお願いします。

吉岡 今、社会全体がギスギスした雰囲気になってきています。だから思いやりの心とか人に寄り添えるとかね、自分の心に余裕が持てるような暮らし方を目指すというか。私らの頃は正解が一つしかなかった。大学を卒業していい会社に入って、ステレオタイプじゃないけど、みんながそれを目指さないといけないような空気が強くありました。でも今は多様性が認められてるから、他者への寛容さや優しさ、思いやりを大事にして過ごせば、大学時代がもっと豊かになって、潤いが出てくるような気はしますね。ちなみに、「恕」という言葉があります。思いやりっていう意味なんですけど、私、一番大事な言葉はこれかなと思って。あとはゆっくりでいいっていうことを言いたいね。

広報 「ゆっくり」ですか？

吉岡 例えば、みんなが就活し始めたらなんかわからんけど勝手に焦り出して就活しなアカン、みたいなの。でもそれは自分の判断じゃなくて、

周りがそうやからって動き出す習慣であることが多いと思う。そうじゃなくて、自分は自分やから人がどうこうやなしに、ゆっくり自分のペースで歩けばいいという風には思うね。

広報 私もそういう周りに流されてる感じがありますね。

吉岡 やはり、多分多くの人がそれ感じて、それが次第に大きな違和感になってくるから、ゆっくりでいいっていうことは本当に思います。人生成功ばかりだったら、つまずいてる人の痛みわかんないよ。つまずきばかりの人生歩んでる人は他者に優しくなると思うね。

広報 そうですよ。私来年就活ですけど、気持ちだけ焦ってしまいうんですよ。

吉岡 だから全然焦らずでいいと思うんですよ。一回ちよっとリラックスするくらいで。あと、専門性っていうのは一本じゃダメってよく言われてるよね。二本でもグラグラするでしょ。三本あったらグラグラせえへん。いろいろな専門性を携えることが出来れば、もっと頑強な自分になれる。

Thank you

▼卒業生高橋萌瑛さんの作品

広報 一つに絞らなくてもいいってことですよ？

吉岡 いいと思いますね。いくつかあったほうがいいと思う。

広報 わかりました。ありがとうございました。



学生広報スタッフ CROSS TALK

学生広報スタッフ × 高知大学卒業生



高橋 地域協働学部で地域とデザインを学びました。吉岡先生のゼミに所属していて、それは入学前から希望していました。三年間で600時間以上におよぶ地域実習が学びの特長ですが、「実習地」は数ある候補から自分で一つ選びます。一年生の前期に色々な地域を訪れて周る期間があって、その後高知市北部にある土佐山という地域を実習地として選びました。土佐山は地域の人たち自身、企画実施に長けていて、自分たちで交流のきっかけ作りや観光資源になるものをイベント化する力がありました。イベントを手伝いながら、勉強させてもらい、自分たちができることをプラスアルファで加えていくような形だったので、私は「デザイン」を活かした地域情報誌づくりから始めました。



高橋 これめっちゃ考えたけど、後悔はなくて。大学の方が一番やりたいことを自由にやりよった気がする！
広報 デザインが好きで、大学でさらに挑戦し、のめり込む環境があったからですか。
高橋 そうそう。でもしいうなら「旅」かな。社会人になってから旅に出ることは増えたけど、時間は大学生の頃の方があつたき、もったいと思います。





高橋 デザインを活かした仕事
がしたいっていう軸は決まっちゃ
よかったけど業界はそこまで絞っ
てなくて。だから全国、色々な
業種の説明も面接も受けてた。
大学職員という選択肢も「高知
で働く大人と話そう」みたいな
One stepの企画で先輩職員
(たしか今の同僚)と話をし
て「アリかも」って思ったの
もある。凄く悩んだけどこれまでの
学び、福利厚生、やりたい事、
やりたくない事…総合的に見て
自分の希望が一番多く叶えられ
そうなのが高知大学だったの
で心を決めました。



高橋 これいい質問やね！答え
はいろんな人の話を聞くと
です。学生もそうやし、先生や
卒業生とか。特に広報誌SRUの
取材はめっちゃ楽しいですね。
広報 大学生・先生・卒業生の
話を聞くお仕事って大学広報な
らではですよ。自分の興味関
心からかけ離れたものにも触れ
ますよね？
高橋 そうなんです。だから予
備知識や理解力がもつとあれ
ば…と思うけど、広報誌に出て
くれる先生はわかりやすく話を
するのが上手な方も多いです。
表現の仕方も勉強になるし…！
卒業生のエピソードも多種多
様です。大学を出た先は十人十
色。みんな色々な道があるがや
なって思えます。



高橋 いい！と思う！若手の多
い部署であることも影響がある
かもしれないけど、「堅過ぎな
い」雰囲気です。仕事のオフシ
ーズン、オンシーズンをみたい
ものがあまりなく、常に動き回
っている感じがします(笑)でも
自分も含め、みんな楽しみを持
ちながら働いているし、改善案
が出たら割と行動に移している
方なんじゃないかな。
フレキシブルな学生たちの出入
りも多いオフィスなので、新し
い風が吹いている職場だと、個
人的には思います。



高橋 就活の時に友達がかけて
くれた言葉を皆さんにも。決断
に迷うときっていつでもあるじ
やないですか。私も就職の時に
かなり迷いよって、友達に相談
したら「怖いならGo!嫌なら
No!」って言われたんです。
「飛び込むのが怖い…」が理由
なら行ってみてもいい。一方で
「嫌だ」と思う事が一つでもあ
るなら一旦別の道を探す、って
ことでいいよねと、腑に落ちま
した。それ以来いつも何かに迷
ったら思い出しています。



What is your recommended class?

共通教育科目集中講義

Japanese studies | • II



赤岡町の絵金祭りでフィールドワーク！

この講義では、海外の協定校から来た学生たちと高知県内でのフィールドワークを行いながら、互いの文化についての理解を深めたり、留学生たちの日本語の授業を手伝ったりすることができます。

コミュニケーションは主に英語なので英語を話す練習ができ、高知県内のフィールドワークを通じてまだ見ぬ高知の魅力を発見することができます！

講義の期間は7月の1か月間で、週末には1泊2日のフィールドワークを柏島で体験することができました！

英語で話す機会が欲しい人や様々な国の友人が欲しい人におすすめです！

この講義では、最後に英語でのプレゼンテーションを行います。

テーマに沿って、グループのメンバーと話し合いながらプレゼンテーションの資料を作り、発表します。どのグループもユニークで面白かったです！！



What's your recommend class?

けん玉にチャレンジ!



生け花ではユニークな
作品がたくさん!

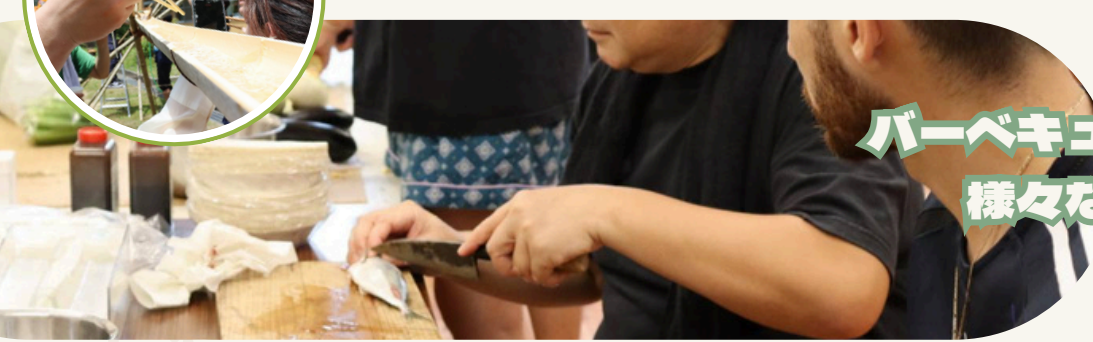


COSAという廃校を
利用した施設で

1泊2日のフィールドワーク!



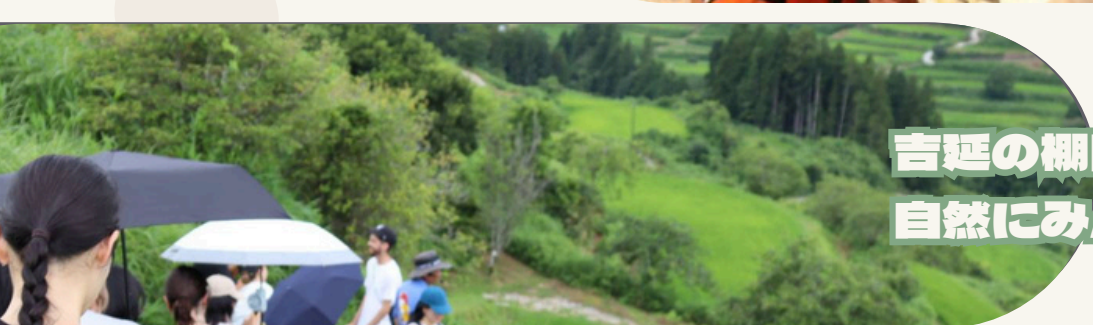
バーベキューの準備など
様々な体験が!



絵宝祭りでは地域の
伝統的な踊りや絵を
堪能したり...



吉延の棚田では広大な
自然にみんなが感動!





濃いめでお願ひします

～オフレコでしかできない話～

高知大にいる味のある学生を発掘したい！
という思いから始まったインタビュー企画。



volume.1 教育学部 神崎創太

ヒッチハイクレース旅
—前半戦—
since 2009

〈スーパー編〉

この前、ヒッチハイクレースっていうのに参加してきたんですよ。運転手に交通費だけ渡されて、飛行機に乗らされて。それでとりあえず無一文で八丈島まで流れてきました(笑)。それから、飛行機代を稼ぐためにまずスーパーに行ってみようと思って。状況としてはもう完全にRPGの初期村ですね。

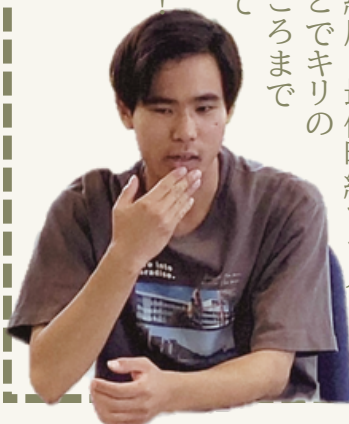
で、まあ店長さんは「君面白いね、ここで働きなよ」って言うてくれて。初日と2日目、フルタイム以上で働きました。

ただし、給料、ではなくてあくまで、貸付け(笑)。内心「もらえないんだ」って思ったけど、もちろん言わなかったです(笑)。結局、最低時給プラス

ちよつとでキリのいいところまで

働かせて

もらいました！



〈変なおっちゃん〉

そこから、空港で乗せてもらえる車を探したら、すごい不審なおっちゃんがおつて。「関わりたくない」と思ってたんですけど、他の人が全然捕まらなくて(笑)。

もう仕方ないし、例の不審なおっちゃんにお願いしたら、「あーもうちよつと今日はやめてほしいわー」って言われて。

いや、なんやこいつ(笑)。

でも、なんか明らかに話しかけられ待ち。みたいな雰囲気出してから、押し

たらいいける

と思つて

説得した

んです

けど。



それでよくよく聞いてみたら、俺以外にもヒッチハイクレースの参加者を既に2人乗せてたらしくて。だから「もう分かってるぞ」みたいな顔で(笑)。

なんでそんなに遭遇するの？って思ったけど、その人ツイッターで俺のこと見つけてくれて。

「まさかと思つて来てみたらおつた」って。いや、じゃあ1時間も待つてんなよ、って思いましたけど(笑)。

結局その人、次のサービスエリアまで送ってくれて、飲み物まで奢ってくれて。

いやもう頭下げっぱなし。申し訳ないくらい、めっちゃしてもらいましたね(笑)。

ヒッチハイクレース旅—後半戦—

〈おばちゃんど牛丼屋〉

その後も、はしごして厚木インターの近くまで送ってもらえたから、「よし、ヒッチハイク再開だ!」って気持ち入れて。はま寿司の前で3時間くらい粘りました。全然止まってくれない。でもファミリーばかりで、もう心折れかけてたときに、外国人の方が一回通り過ぎた後にまた戻ってきてくれてね。本人は日本語しゃべれないんだけど、子どもが通訳してくれて。「この千円あったらおいしいご飯食べられますか?」って。

ご飯が食べたいわけじゃなかったんですけど、あまりに優しく、「食べられます!」って即答して(笑)。ありがたくもらって、財布に入れたんですよ。

で、「いくら入ってるかな?」って確認してたら、急に知らないおばちゃんが近づいてきて、「あらー君よかったねえ!」って体バンバン叩いてきたんです。

「え、誰?」って思いながらも笑って受け流してたら、そのまま帰って行つて。

いや、帰るんかい。

何かくれる流れじゃないの?って(笑)。ほんとに。

その後も1時間くらい誰も止まってくれなくて、日が暮れてきたから、とりあえず目の前のすき家に入つて牛丼を頼んで、「さっきもらった千円で払おう」って財布開いたら——ない。そう、財布がない。何度探してもない。席の下も、テーブルの上も。もう頭の中が真っ白になって。仕方ないからスマホのタッチ決済で払つて、「ちよっと考えたいんで、席もう少し座っていいですか」って言つて、ぼーっと考えたんですよ。

で、思い出した。——体バンバン叩いてきた、あのおばちゃん。まさか、じゃなくて確実に、ですね(笑)。

あの時、財布に千円入れて、確認してるタイミングで後ろからバンバンやられてたんで。いや、あれは持つてかれたな。

こうして、再び、無一文、に戻ったんですね(笑)。その後は免許再発行して、クレカも再発行して、手数料でプラス1万くらいかかって。つまり、京都、東京の往復で、3万あれば済んだはずなのに、それ以上に取りれた上、メンタルも削られるという(笑)。

まあ、結局いろいろあったんですけど。話のネタにはなりましたね(笑)。ちよっとかける話にはなつたでしょうか?(笑)。



大学生活で
やらかしたこと



昨年、黒潮祭の実行委員をやつてたんですけど、引継ぎをしなかったのはちよっとマズかったなつて思ってます(苦笑)。おかげで、次の代表にも「神崎さんすぐ連絡だけ取れるようにしてください」って言われてて……。けど、諦めました!これを他の参加者が見たら多分ブチ切られると思います(笑)。

あとは……言語とれなかったのが痛かったな。今中国語と、あとはドイツ語もぶち込んで。だから三回生後期とは思えないくらいきっちり授業があつて、一年生みたいなスケジュールなんです(笑)。ラジオの音なんかもバイトでやってるので、実質一日に2コマ以上入っています。俺は別に真面目な訳ではないので(笑)。



推し事 エッセイ

有楽町から、 おばんです！ -「乃木坂46のオール ナイトニッポン」-

毎週水曜日 25:00～27:00 ©ニッポン放送2025

現在は2代目パーソナリティの久保史緒里さんが担当
している乃木坂46のオールナイトニッポン。

久保さんのふるさと、宮城県の話や楽天
イーグルスの話、久保さんのアイドルらしからぬ
墮落しきった休日の話などいい意味で近所の
お姉ちゃんみたいな親近感の湧く雰囲気がある

魅力の番組です。

しかし、今年11

月に久保さんが
乃木坂46を卒業す

ることに伴った、
パーソナリティ
の交代にも注目
です。

いづい！！

TAKA

香川県出身
人文社会科学部
3年



サッカー観戦に ハマっている

- 高知ユナイテッドFCの試合をみて -

サッカー観戦はいいぞ！ゴールの熱狂、
応援の一体感、いつもの日常から離れた
感情を味わえるエキサイティングなイベ
ントだ！そういうわけで高知ユナイテッ
ドFCの試合を見にに行ってきました！
高知は応援に鳴子やよさこいの正調が使
われていたり、バチバチ感が少なくても
雰囲気温かたりしました！これだけで
もおちも応援しているチームとは

違いがあり新鮮でした！

この文章を見ている
人がいるなら、ぜひ
スタジアムに足を運
んでみてほしいで
す！

YUKI

茨城県出身
地域協働学部
3年

CROSS POINT
volume.03

2025

編集・作成：高知大学
学生広報スタッフ
発行：高知大学広報・
校友課 広報係